

スペシャルインタビュー

ドクターズ  
ファイル

整形外科

“名古屋西病院のエキスパート”

DR. Naoki Mizuno

# 歩行時の痛みで お困りの方へ

歩行困難になると、認知機能にも影響が！？

膝や股関節の健康とともに、積極的に生活する毎日を！

名古屋西病院 整形外科 部長 水野 直樹

# 歩行時の痛みでお困りの方へ

膝や股関節の痛みにお悩みの方、少なくないのではないでしょうか。

「歳だから仕方がない…」と放置してしまっている方もいらっしゃるかもしれません。

諦めていたその痛み、実は専門医師の治療によって改善する可能性があることをご存知ですか？

人工膝関節置換術・人工股関節置換術のエキスパートである水野直樹医師の紹介とともに、

いくつになっても生き生きと暮らすための治療方法に迫ります。

名古屋西病院 整形外科 部長

水野 直樹 (みずの なおき)

前職は名古屋掖済会病院に勤務し、年間 100 例ほどの人工関節関連の手術に携わる。定年を迎え、ワークライフバランスを大切にしながら今まで培った知識を活かせる職場を探していたところ、手術面の強化を図る名古屋西病院が、常勤の整形外科医を募集しており入職を決意。人工膝関節置換術・人工股関節置換術のエキスパートとして、多くの患者様の治療から回復後まで親身に寄り添う。

## 主な資格

日本整形外科学会専門医・医学博士・日本整形外科学会認定スポーツ医・日本リハビリテーション医学会認定臨床医・日本医師会認定産業医

## 1. 整形外科について

まず、整形外科とはどのような診療科ですか？

水野先生の担当領域も交えて教えてください。

整形外科は、首～足先までの骨・関節・筋肉などの運動器の疾患を扱う診療科です。切り傷、打撲、骨折などの外傷をはじめ、加齢に伴う関節痛、腰痛、骨粗鬆症など様々な疾患を扱うことから、当院においても、日々、幅広い年代の患者様が受診されています。当院に受診される患者様の疾患の特徴としては、「外傷」と「加齢に伴う関節変形等の慢性疾患」の二つに分かれます。私は主に後者の患者様の治療に携わり、特に膝関節と股関節の人工関節を専門の領域としています。

## 2. 症状と治療について

どのような症状を訴える患者様が多いですか？

また、症状に対してどのような治療を行いますか？

歩行時に伴う痛みの中でも、特に、階段昇降時の痛みを訴える患者様が多くみられます。受診時の症状の度合いにもよりますが、まずは鎮痛剤をお出ししたり、膝にサポーターを巻いてもらったり、ヒアルロン酸を注入したりといった方法で、痛みの軽減を図ります。また、太ももの筋力を鍛えると歩行が安定し、痛みが軽くなることもありますので、およそ3ヶ月を目安として

筋力トレーニングをお勧めすることもあります。膝の症状でははじめに前述の方法で経過を観察しますが、股関節の症状では治療の選択肢が限られています。そのため、鎮痛剤の効果が出なかった場合は、人工関節置換術が主な治療方法です。



膝・股関節における変形性関節症の治療の一つとして人工関節置換術を行っています。

### 膝・股関節の変形性関節症とは？

長年にわたる膝への負担、加齢による筋力の低下、体重の増加などにより、関節軟骨がすり減っていきます。大腿骨と脛骨が、直接ぶつかり合うことで痛みが発生します。股関節においても同様に、骨盤の臼蓋と大腿骨の骨頭が直接ぶつかり合うことで痛みが発生します。

#### 変形性膝関節症



#### 【人工膝関節置換術】



#### 【人工股関節置換術】



どの程度の症状で手術を受けることになりますか？

また、手術によって、どのような改善を期待できますか？

日頃から痛みが強く、日常生活の歩行動作に支障が出るといった訴えを患者様から聞くと、手術を検討します。手術を受けてもらうことで痛みの軽減が期待できるからです。治療経過は患者様によって異なりますが、回復後には旅行や以前からご本人が慣れ親しんでいたスポーツをされる方もいらっしゃいます。ただ、回復された後なるべく無理をせず、ご自身の体の調子を気遣いながら、楽しく生活してもらえたらと思います。



### 3. 早期治療の必要性

症状が軽ければ、我慢をしてしまう人もいますが、放っておくことにより生まれるリスクを教えてください。

痛みの症状が出ると、動くことが億劫になる方もいらっしゃるのではないのでしょうか？ 活動量が減ると、筋力の低下が進み、歩行動作が困難になっていきます。骨粗鬆症のリスクが高まったり、寝たきりに類似する状態になったりすることもあります。また、外出しなくなることで、外部からの様々な刺激に触れる機会が減るため、認知機能が低下していくこともリスクの一つだと考えられます。



～通院前から退院後の日常生活まで～  
「4つの段階」で注意してほしいこと。

#### ■ 痛みがあるものの、まだ通院していない方へ

なるべく早めに医療機関を受診し、医師の診察を受けてください。

#### ■ 家から通院している方へ

移動の際、転ばないように気をつけてください。また、体重管理にも気を配りながら生活してほしいです。肥満になると関節に負担がかかり、症状が悪化しやすくなります。痛みを軽減するためにも、患者様には体重維持もしくは減量してもらうよう伝えています。

#### ■ 手術後、リハビリを受けている方へ

私は、これまで多くの患者様の治療に関わってきましたが、その中で、「治したい」という患者様自身の想いの強さが、回復に大きく影響するというのを、目の当たりにしてきました。当院では、1日も早く患者様が日常生活に戻ってもらえるように、医師や看護師、リハビリテーション科など、多職種の職員が一丸となってサポートしていきます。まずは患者様自身が、治療に対して希望を強く持ってください。

#### ■ 日常生活に戻った方へ

引き続き転ばないことや体重を管理することに気を配り、日常生活をお過ごしください。また、定期的な通院もお願いします。

## 4. 水野医師の強み

水野先生の強みや、治療において大切にしていることを教えてください。

身体への負担を極力減らし、また手術中や術後の感染リスクを避けるためにも、短時間かつ効率的に手術を行うことを重視しています。アメリカやドイツなどでの手術見学から得た知識もありますが、日々手術を手掛ける中で、「もっとこうしたらより完成度が上がるのではないか」といった気づきが生まれることがあります。手術に使用する道具を製造するメーカーの担当者と積極的に意見交換をし、実際に道具にアレンジを加えていただくこともあります。一刻も早い患者様の回復を目指し、常に手術時における気づきや他のスタッフとの連携を大切にしています。



最後に、名古屋西病院に入職してから水野先生が担っている役割と、やりがいを教えてください。

当院では、これまで人工膝関節置換術・人工股関節置換術等を行っていませんでしたが、私がこれらを手掛けることで、当院が提供できる治療の選択肢を増やすことに貢献できているのではと考えています。転職時には、約15年間勤務した名古屋掖済会病院を離れる寂しさはありましたが、名古屋西病院から比較的距離が近いため、受け持っていた患者様を引き続き治療することが可能ですし、さらには、当院のスタッフに知識を提供したり、手術環境を整えるお手伝いをさせていただいたりするなど、当院の未来を創っていくことに携われるのは、大きなやりがいとなっています。今後も当院、そして当院の整形外科としての可能性を広げることに尽力していきたいです。

